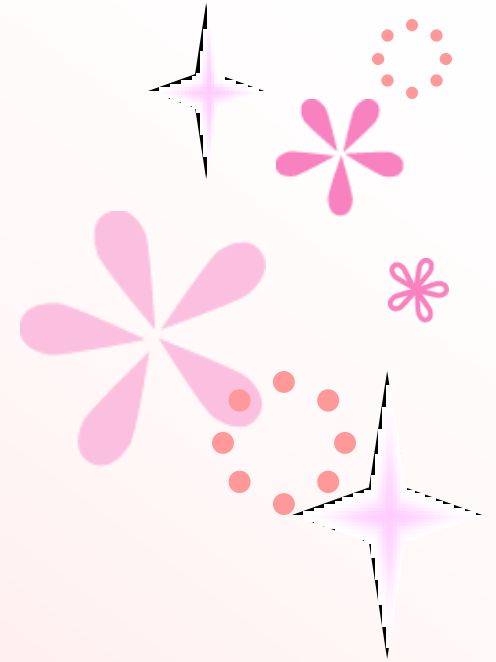


乳がんホットライン

相談内容集計結果

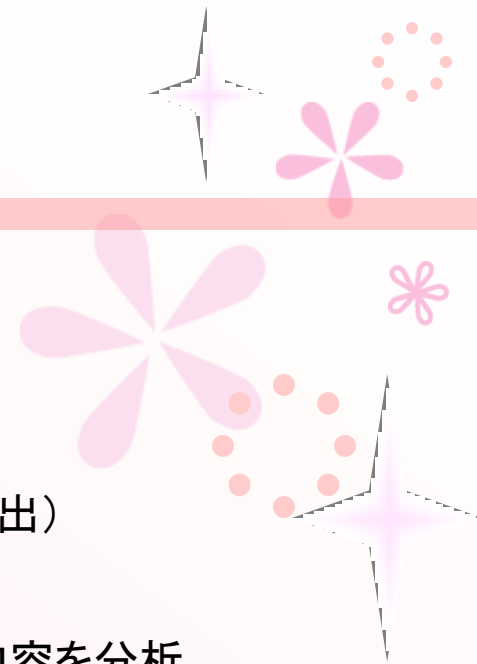


概要

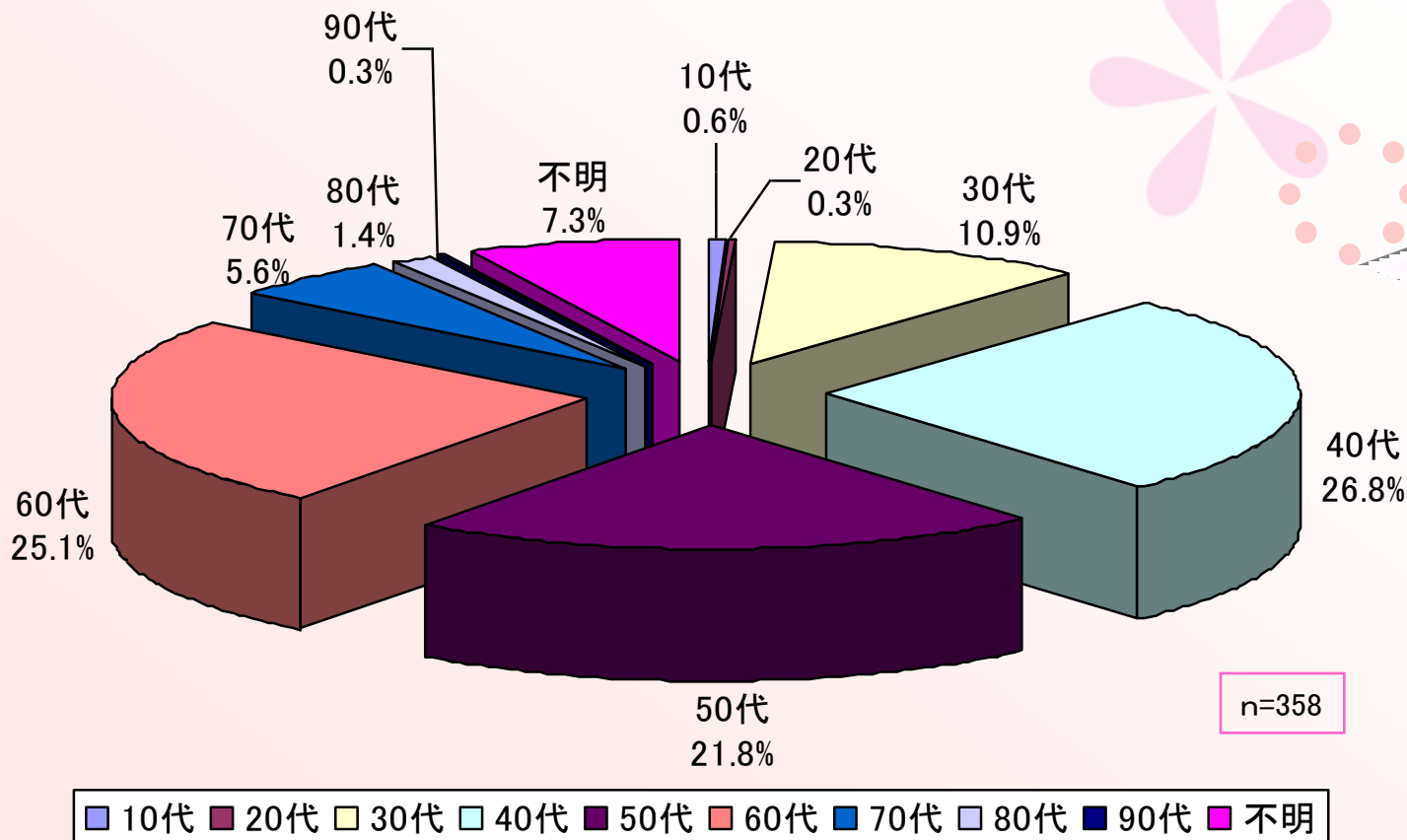
期 間: 2008年2月1日～2月29日 (2月の1ヶ月間を抽出)

方 法: ホットラインへの相談内容を随時、記録し、記録内容を分析

相談件数
総数: **358件** (うちリピーター49件)

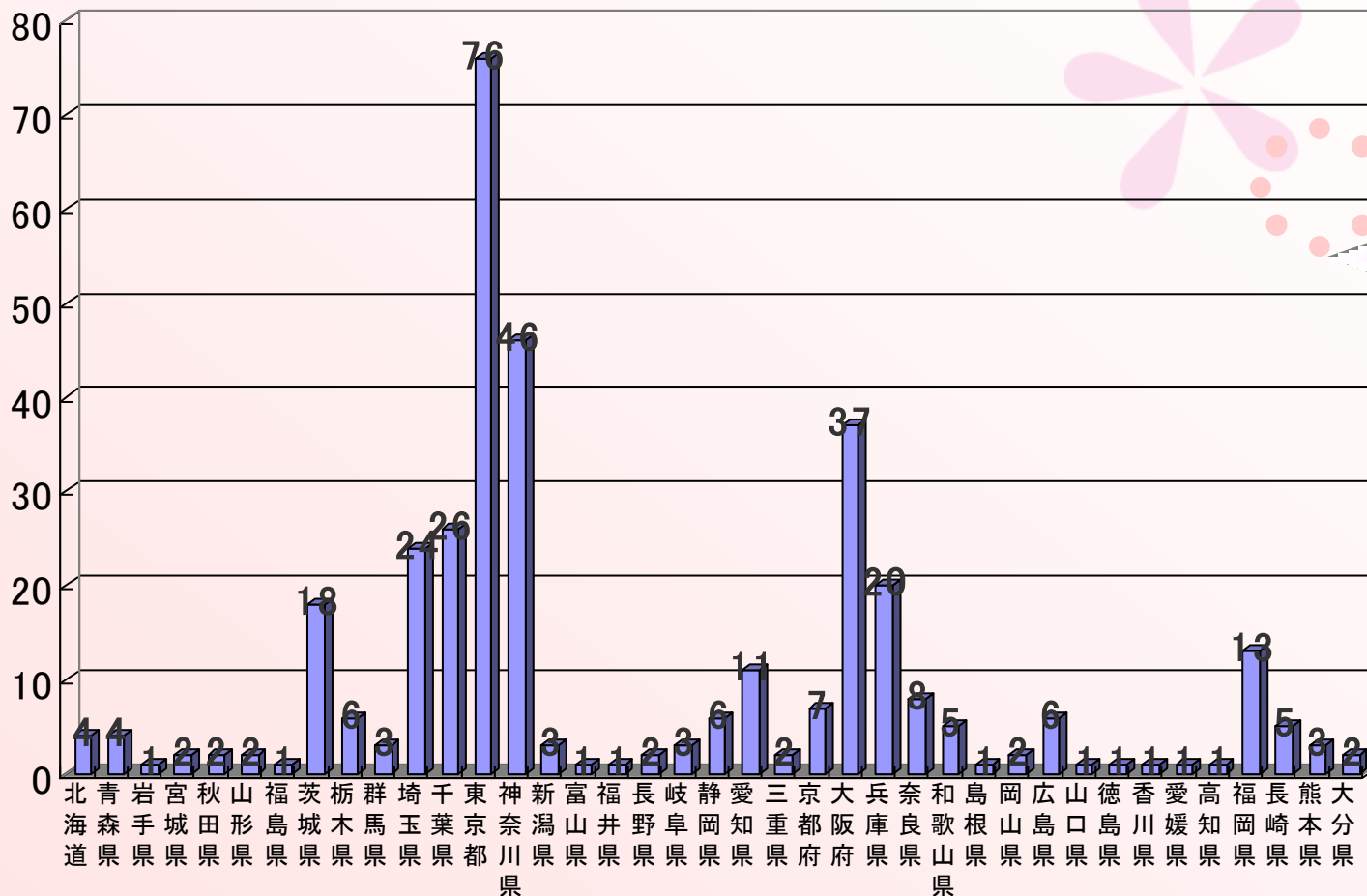


属性【年齢別】



73.7%が40代～60代で、「乳がんの多い年齢」に該当していた。

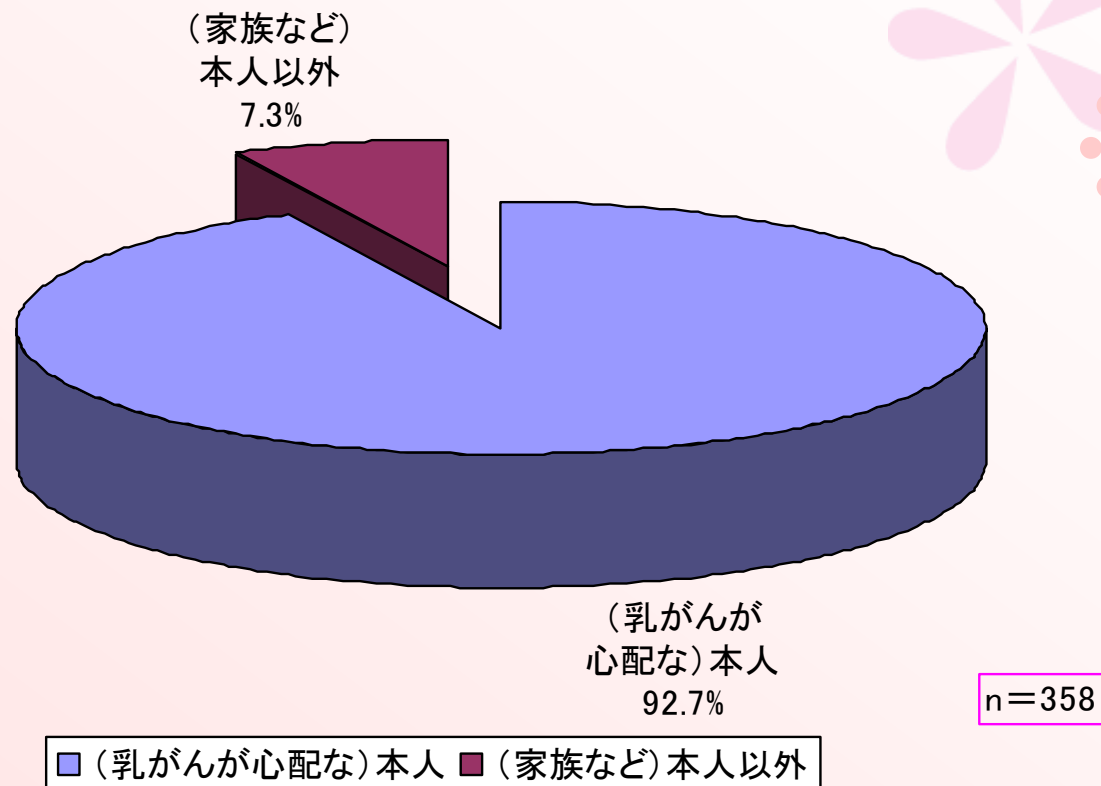
属性【地域別】



n=358

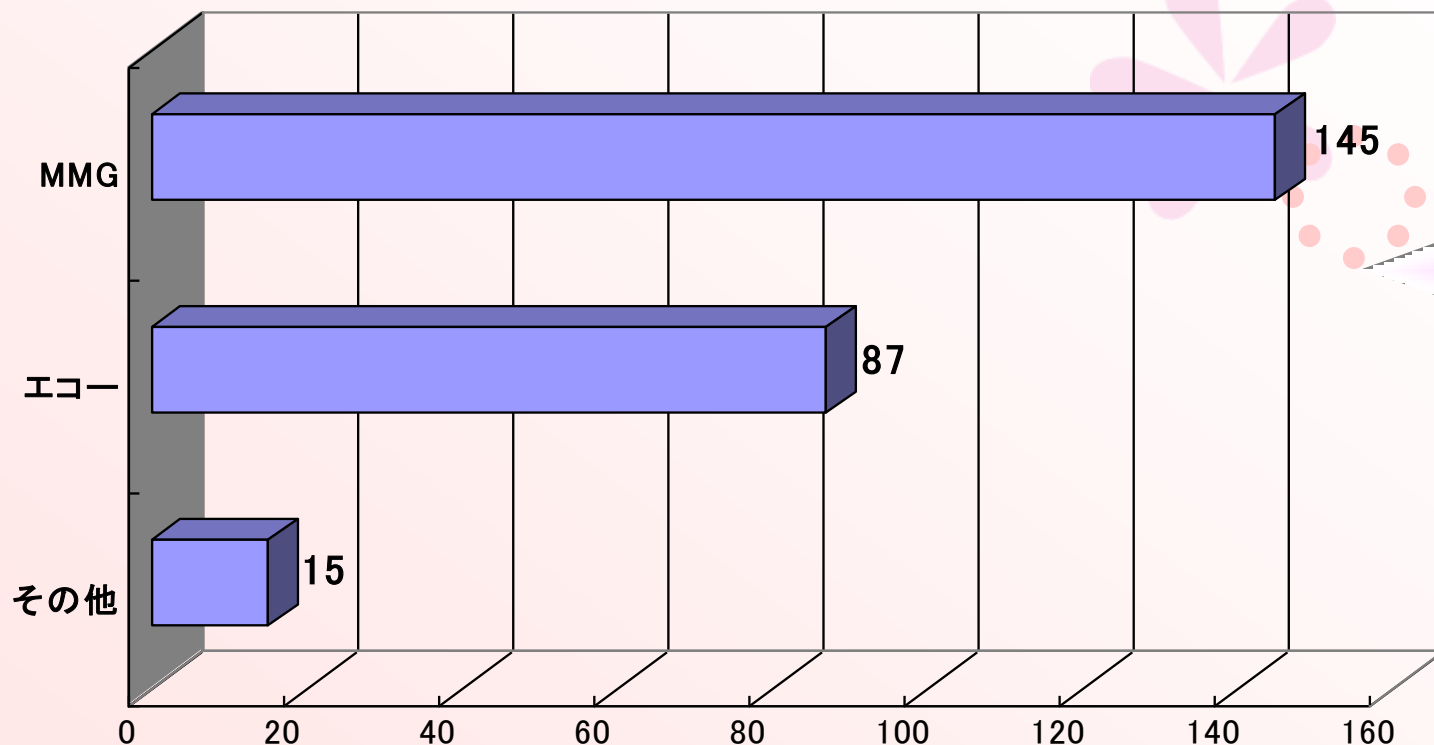
東京、神奈川、大阪、千葉、埼玉、兵庫と64.0%が都市圏に集中した。

属性【本人・家族など】



**358件中、9割以上が「本人」からの相談。
すでに「乳がん」と診断されている人も15人いた(自己申告分のみのデータ)。**

属性【一次検診の検査内容】

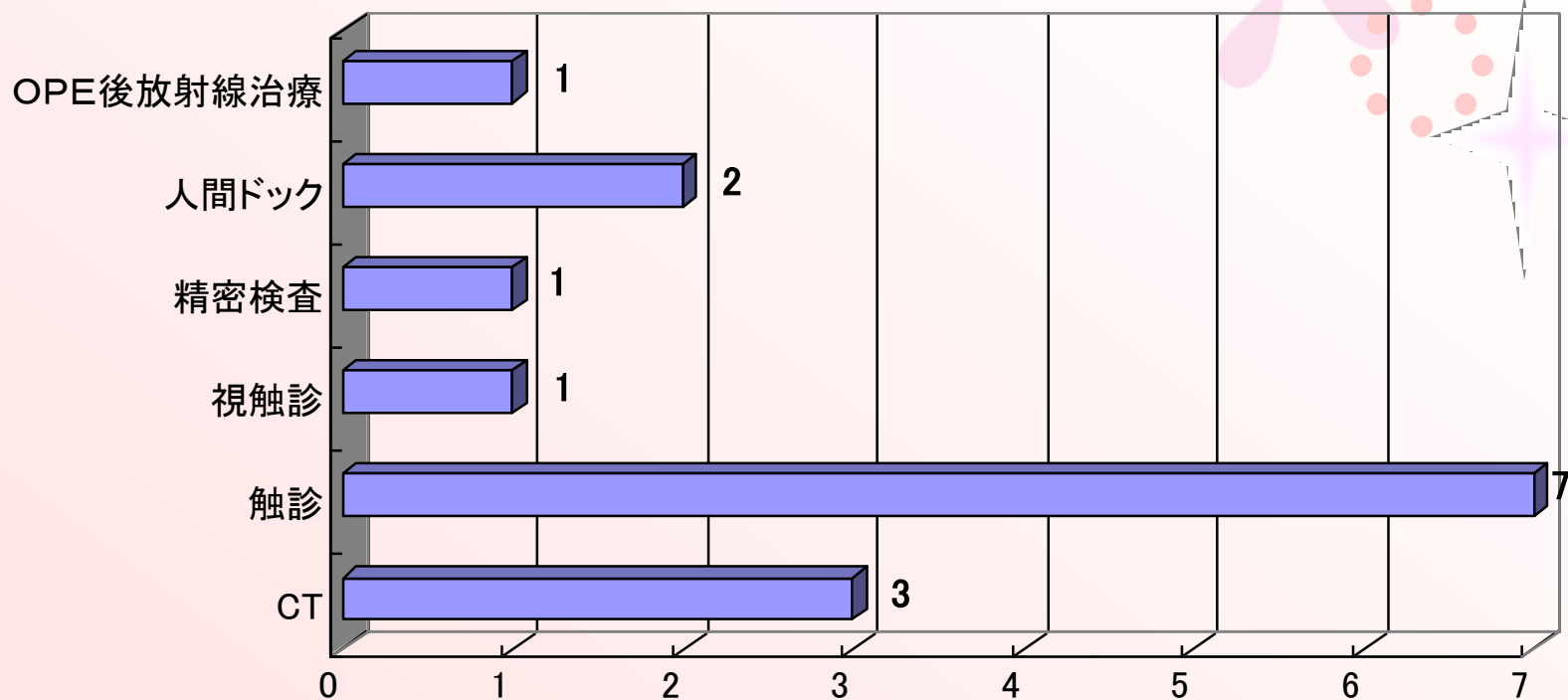


回答総数: 247

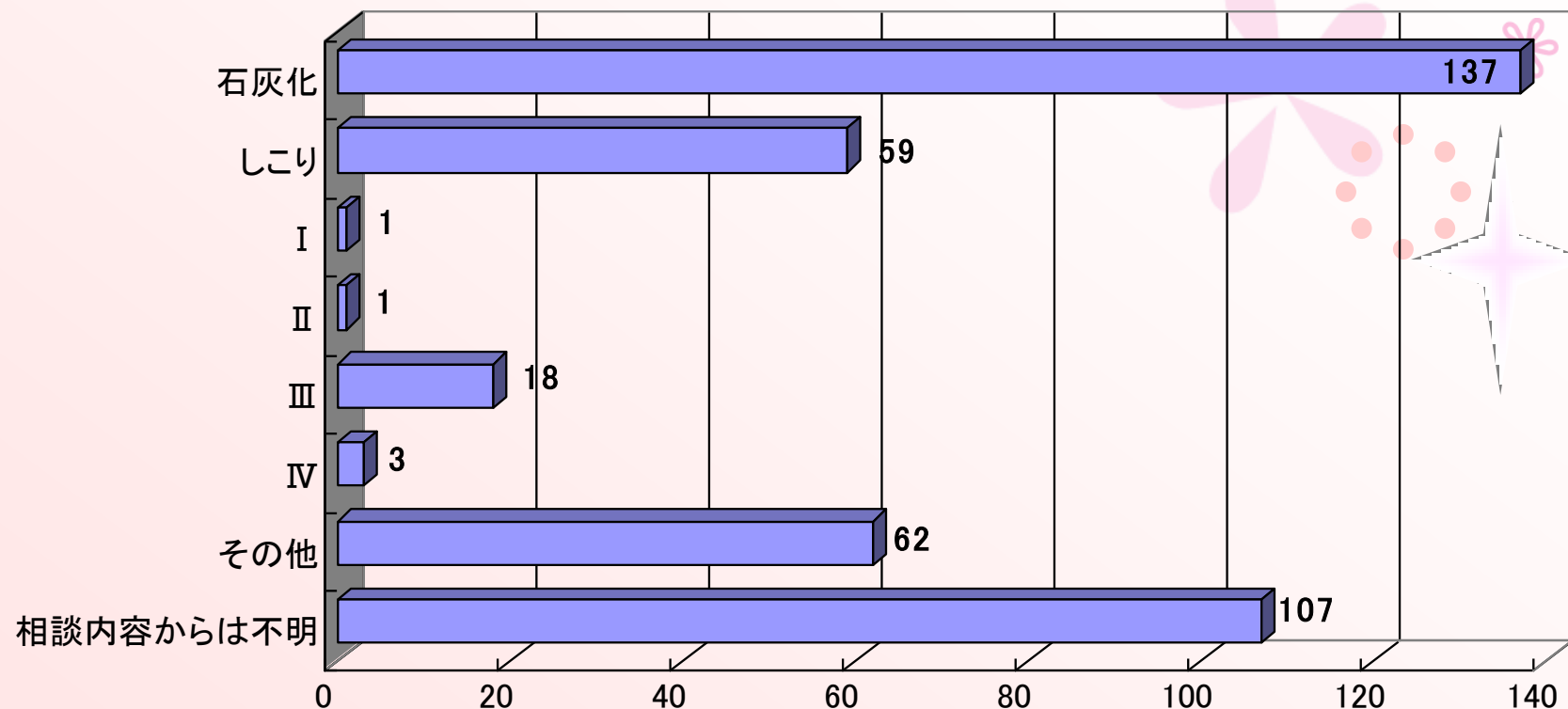
※「MMG」と「エコー」の両方受けた方も、1件ずつカウントした。

一次検診の内容として最も多かったのは「マンモグラフィ」で、相談者全体の40.5%(145人)が受診していました。また24.3%(87人)は「エコー」を受けていました。

属性【一次検診の「その他」の内容】



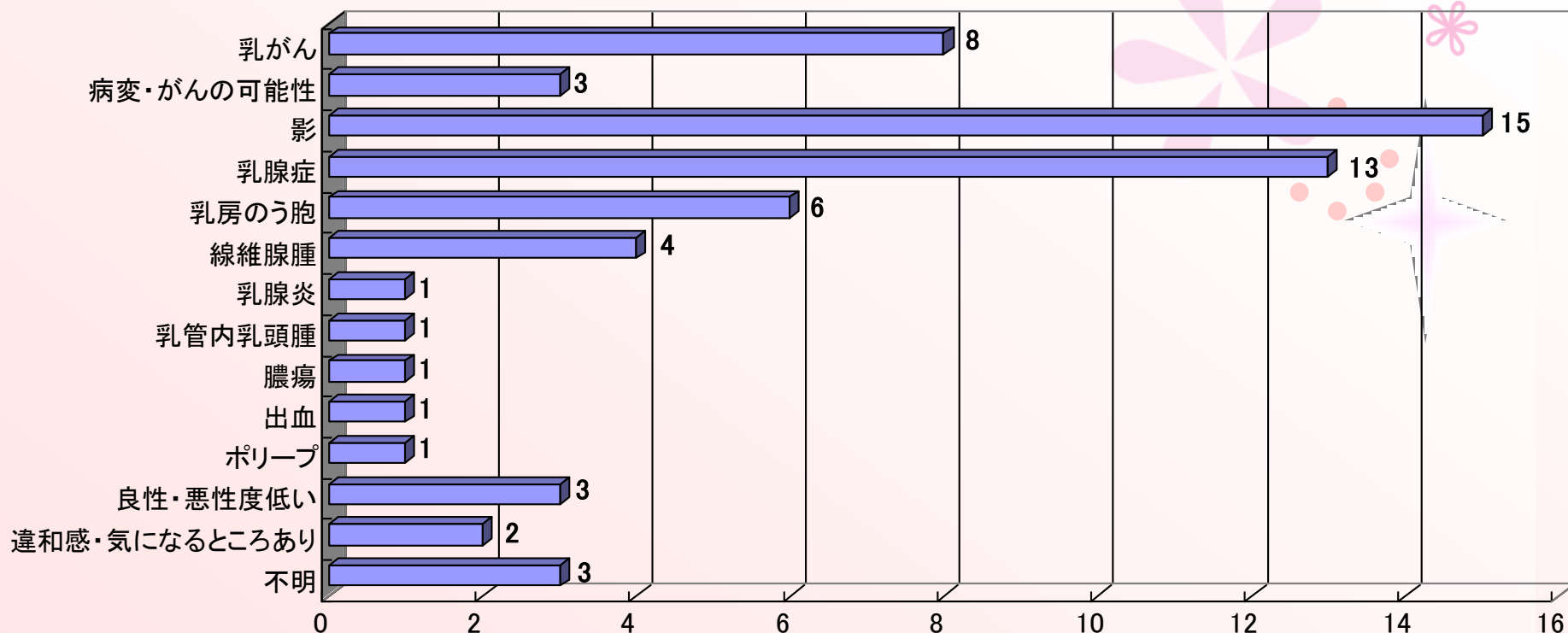
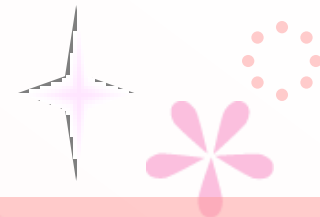
属性【所見】



n=388 ※「石灰化」と「しこり」が両方ある方など、所見が複数ある方は、1件ずつカウントした。

「石灰化」を指摘されて相談を寄せてきた人は、相談者全体(358人)の38.3%(137人)いた。「しこり」が16.5%(59人)、「カテゴリⅢ」と指摘された人も5%(18人)いた。

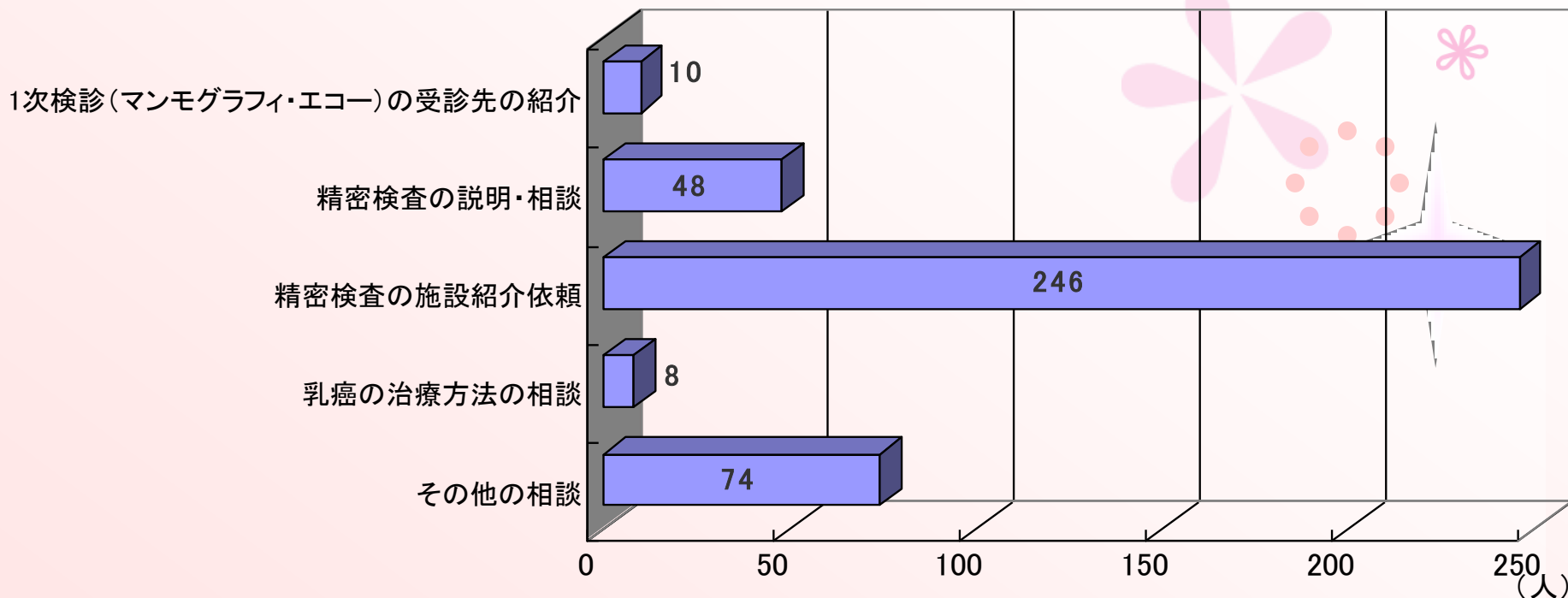
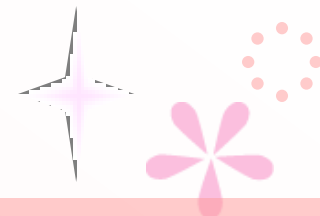
属性【所見 「その他」の内訳】



n=62 (石灰化、しこり以外の所見の内訳)

その他の所見があった62人では、「影がある」と指摘された人は相談者全体の4.2%(15人)を占めた。「乳腺症」は3.6%(13人)、ほかにもすでに「乳がん」だった方も2.2%いた。

相談内容の内訳（複数）

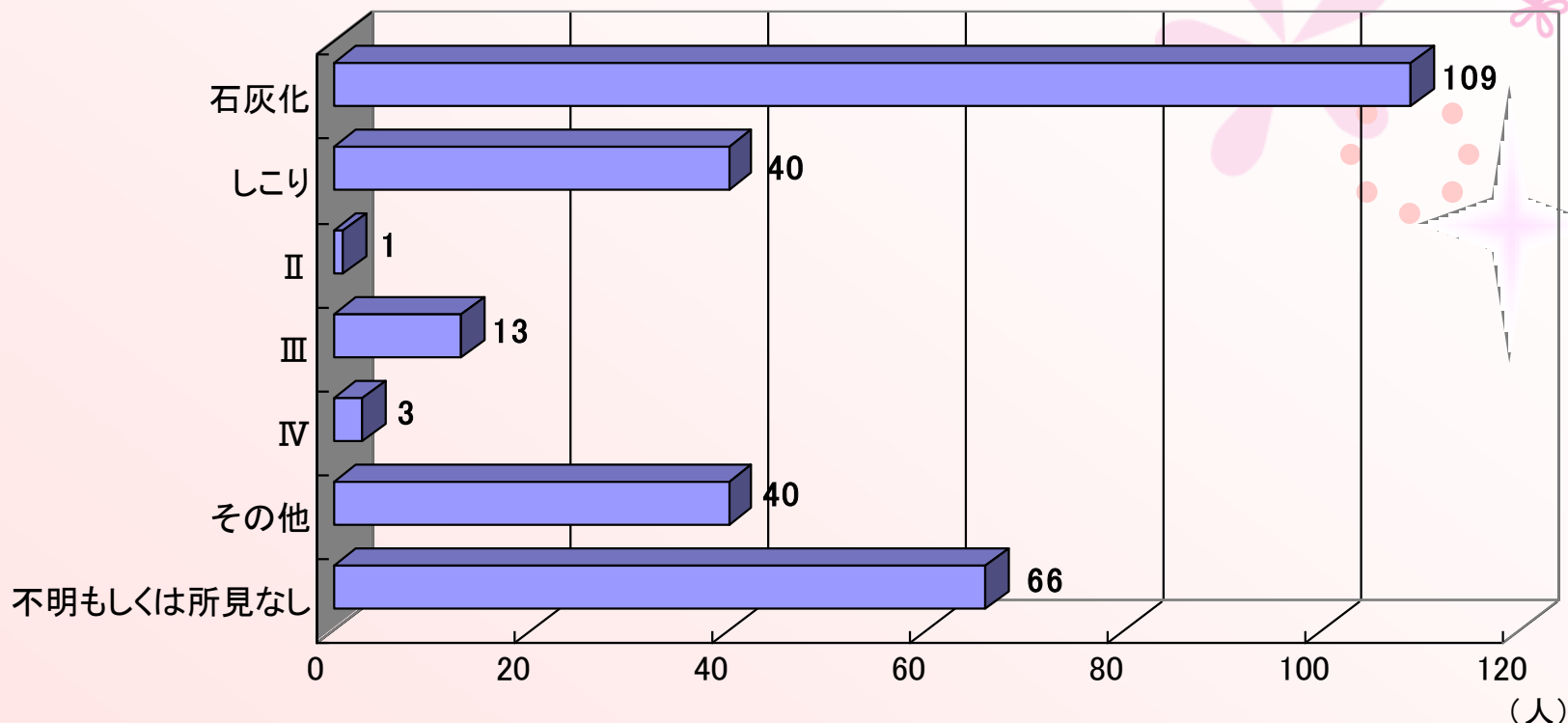


n=386 ※相談事項が複数ある方は、1件ずつカウントした。

最も多かったのは「精密検査の施設紹介依頼」で、246件にのぼった。これは全体の相談内容のうちの68.7%(358件中)を占め、精密検査の受診先すらわからずに困っている方が多数いることが明らかになった。

次いで、「精密検査の説明・相談」が48件あり、13.4%を占めた。

精密検査の施設紹介希望者(246人)の所見

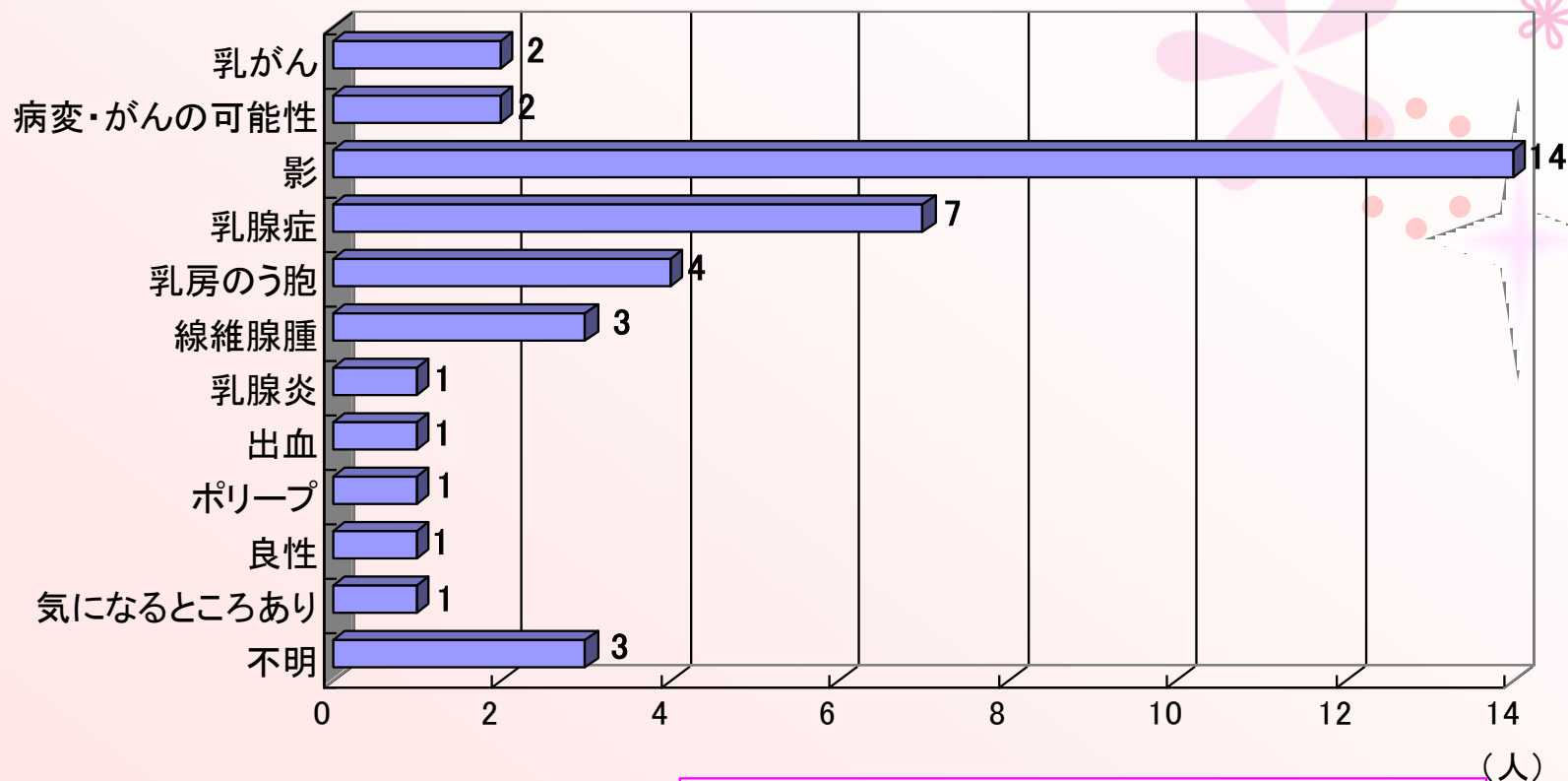


n=272 (精検施設紹介希望者はn=246)

※「石灰化」と「しこり」が両方ある方など複数回答は、1件ずつカウントした。

精密検査の施設紹介を希望された方のうち、「石灰化」を指摘されていた人は、精検施設紹介希望者の総件数の44.3%(109人)おり、石灰化を指摘されたがゆえに「不安」を感じ、精密検査受診先を探している、ということがうかがえた。

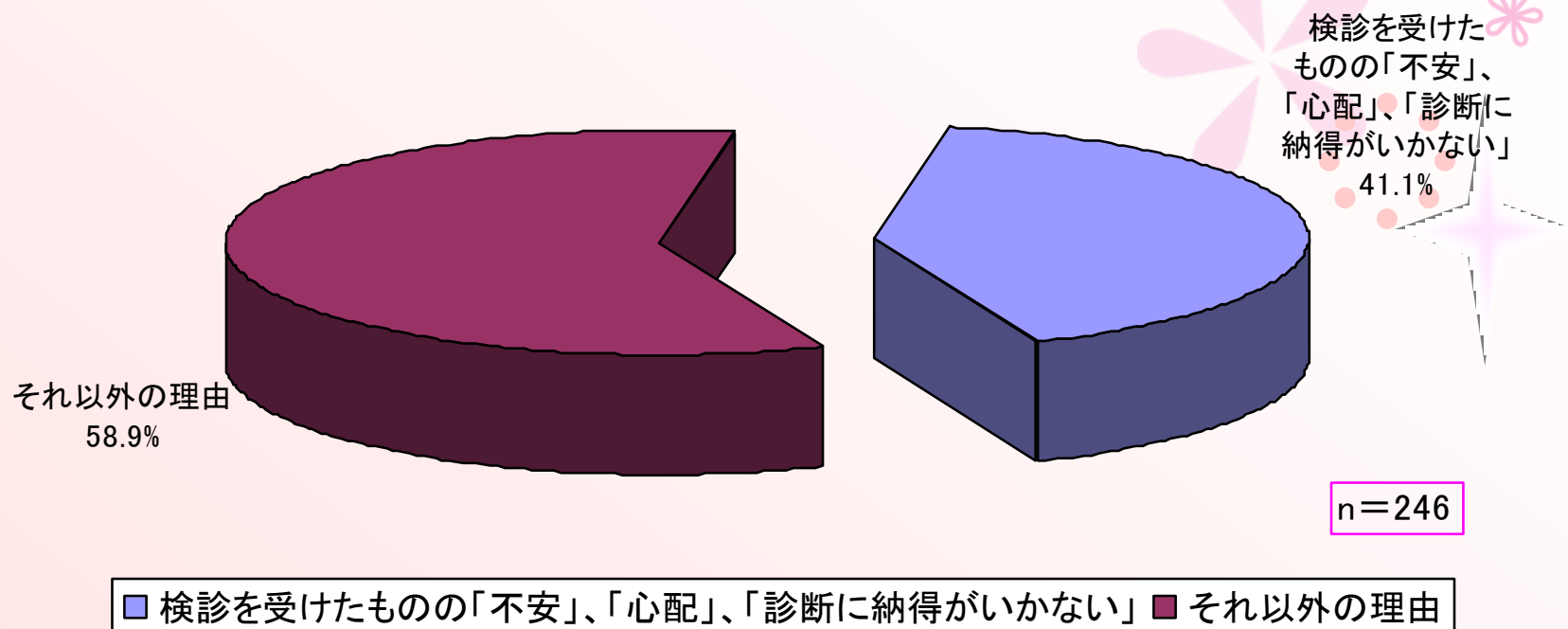
精密検査の施設紹介希望者(246人)の所見 【「その他」の内訳】



n=40 ※回答が2件ある場合は、1件ずつカウントした。

所見で石灰化・しこり以外を回答された件数は40件あり、そのうち最も多かったのは「影がある」という指摘で、精検施設紹介希望者全体の5.7%(14人)を占めた。

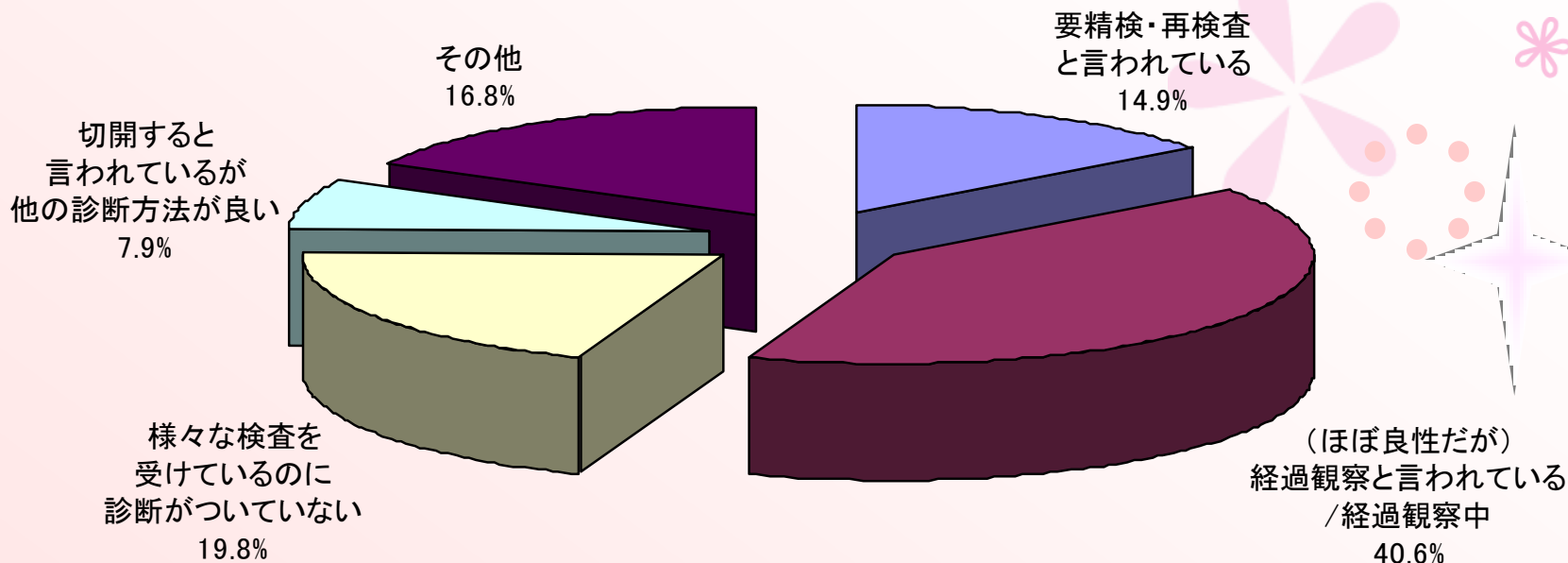
精密検査の施設紹介希望者(246人)が「施設紹介を希望する理由」。 「不安」、「心配」、「診断に納得できていない」からが4割



精密検査の施設紹介を希望された方のうち、その「理由」を抽出したところ、「不安を感じているから」、「石灰化があるがはっきりしないと言われ心配だから」や、「診断に納得できないから」、という人が、**41.1%(101人)**いた。**中途半端な状態ではなく、「診断を確定させたい」がゆえに、精密検査の施設紹介を希望する人の多さがうかがえた。**

不安や心配を感じ、精密検査の施設紹介を希望してきた人(101人)のうち 経過観察や検査の繰り返しが「不安・心配」につながる可能性があることが わかった。

約4割が「経過観察」と言われており、経過観察＝不安＝精密検査を受けたいという希望につながっていることが明らかに。

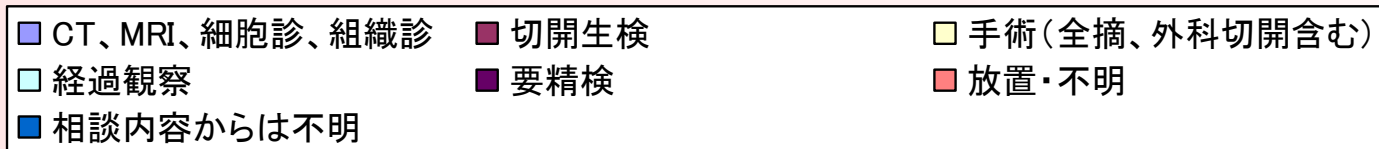
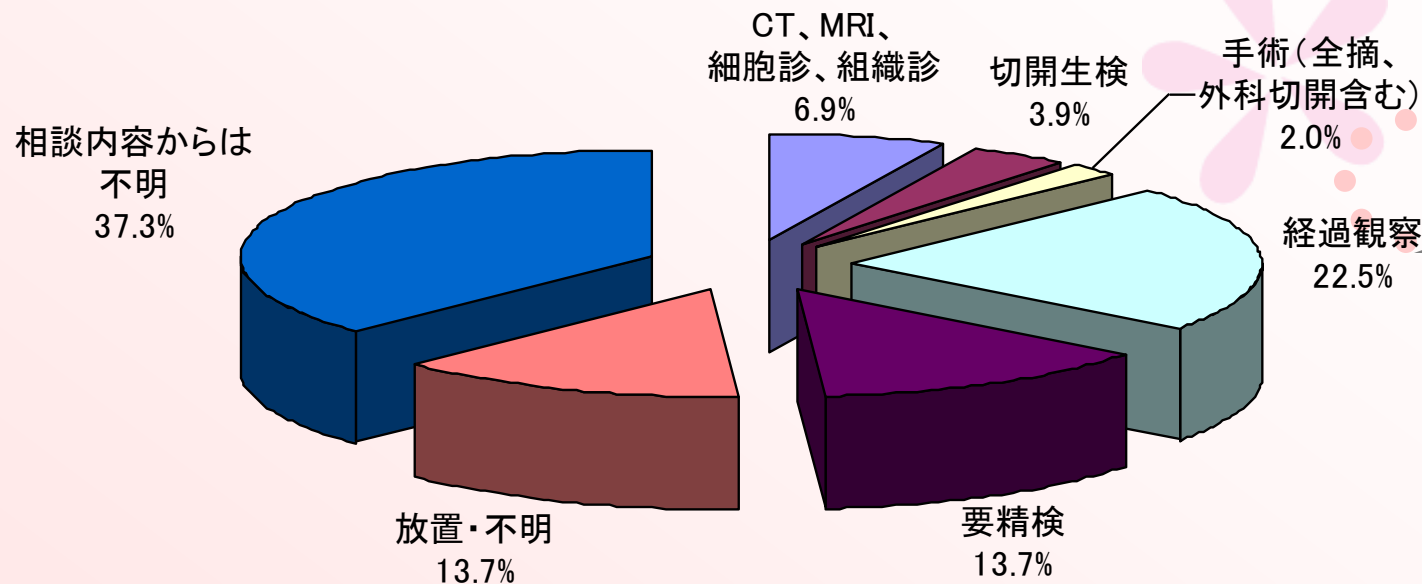


n=101

- 要精検・再検査と言われている
- (ほぼ良性だが)経過観察と言われている/経過観察中
- 様々な検査を受けているのに診断がついていない
- 切開すると言われているが他の診断方法が良い
- その他

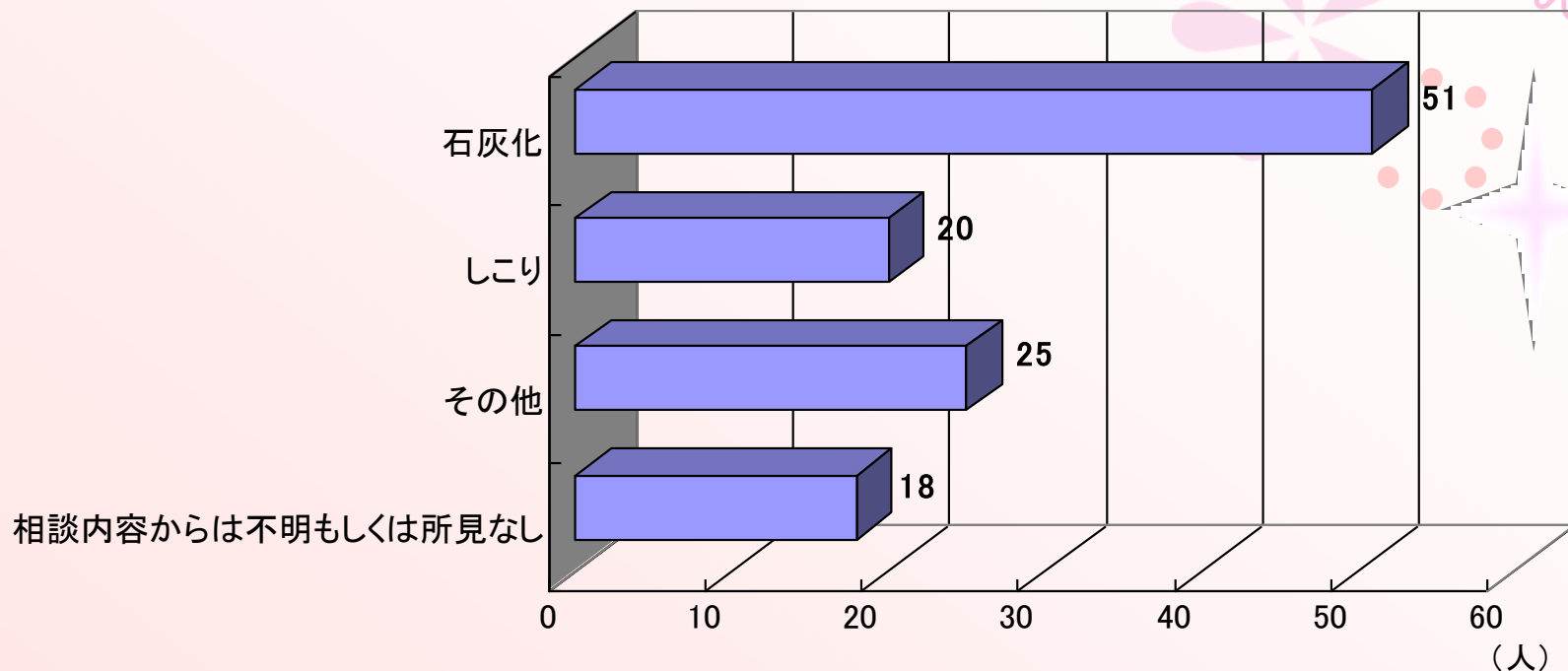
精密検査の施設紹介を希望された方のうちの「不安」や「心配」を感じている101人から、個々の所見を抽出した結果、「経過観察と言われている」人が40.6%(41人)と約4割を占めた。他にも「様々な検査を受けているのに診断がついていない」人が19.8%(20人)おり、経過観察や検査の繰り返しが「不安・心配」につながる可能性があることが明らかになった。

不安や心配を感じ、精密検査の施設紹介を希望してきた人(101人)のうち 医師からその後の予定として「経過観察」や「不明」といわれた 人が36.2%



不安や心配を感じて精密検査の施設紹介を希望された方のうち、医師からその後のアクションとして「経過観察」と言われていた人が、22.5%(23人)と最も多く、次いで「不明」といわれたり「何の説明もない」など放置されていた人、および「要精密検査」と言われた人が13.7%(14人)いた。医師から要精密検査と言われたにも関わらず、コールセンターに「精密検査の施設紹介を希望」してきている人がいる状況も明らかになった。

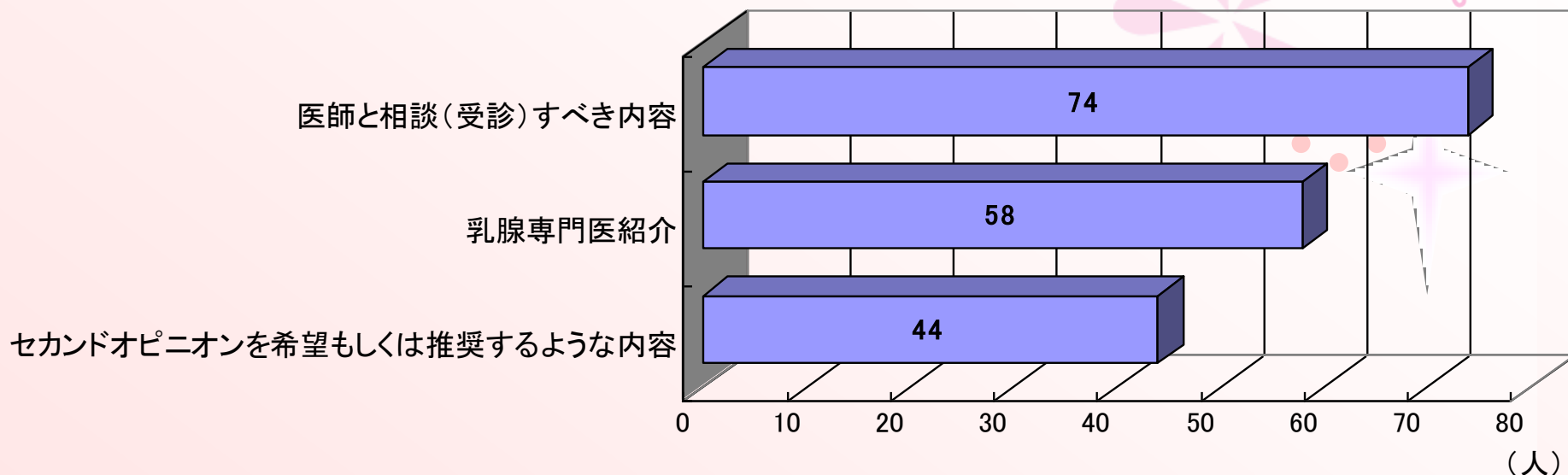
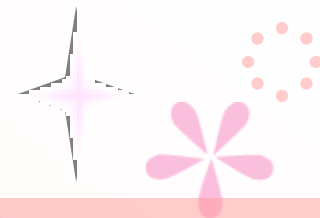
不安や心配を感じ、精密検査の施設紹介を希望してきた人(101人)のうち
所見として「石灰化」を指摘された人が半数の50%
何らかの所見を指摘されていたのは、101人中82%



n=114 (検診を受けたものの「不安」で精検施設紹介を希望してきたのはn=101)
※「石灰化」と「しこり」が両方ある方など複数回答は、1件ずつカウントした。

不安や心配を感じて精密検査の施設紹介を希望された方のうち、所見として「石灰化」を指摘されていたのは、半数の50%いた。何らかの所見を指摘されていた人が82%(83人)おり、そのことにより「不安」「心配」を感じていることが示唆された。

相談内容の内訳②（複数）



施設紹介などの具体的な相談内容とは別に、相談を受けた後、結果的にどういった内容の相談であったかを上記のように分類した結果、「本来であれば医師と相談(もしくは医療機関を受診すべき相談)」が74件と最も多く、全体の20.7%を占め、乳がんに不安を抱える人と医師とのコミュニケーション不足もいまだ残っていることが明らかになった。

他にも、「乳腺専門医を紹介して欲しい」が16.2%(58人)、「セカンドオピニオンを受診したい・すべき内容」が12.3%(44人)あった。